

II 芸術文化事業の状況（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

- ・文芸館

ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター、文化情報プラザ

- ・市民会館(定員 1,022 名)

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名	日本自分史センター運営		
新型コロナウイルスによる影響	自分史センター：4/14（火）～5/31（日）時間短縮運営 1/19（火）～2/23（火・祝）利用休止 自分史相談：4/14（火）～5/26（火）、1/19（火）～2/23（火・祝）全13日間中止		
ミッション	4 地域コミュニティ形成～つながる		
日時	通年（月曜休み）9:00～19:00、自分史相談は毎週火曜日 13:00～17:00		
会場	日本自分史センター		
相談員	芳賀倫子		
入場料等	無料		
利用者数	169名	利用率	—
収入	—	助成金	—
		自主財源比率	—
支出			432,407円
データ	蔵書 8,298タイトル／寄贈 107タイトル／書籍貸出 49冊／相談日数 35日／相談件数 59件		
事業内容	<p>(1) 全国の自分史関連団体や個人の自分史作品を受け入れ、収集・保存・公開を行う。</p> <p>(2) 専門の相談員が無料で行う「自分史相談」を定期的で開催し、文章の書き方から書籍発行まで、レベルや要望に合わせて相談に応じている。</p>		
成果	<p>(1) 公共施設が自分史事業を柱にしているのは珍しく、全国各地から来館者が訪れている。大学の研究目的の利用も多く、今年は名古屋大学学部生の卒業論文・同院研究生に資料やサークル団体を紹介するなど協力。コロナ禍中であっても、電話やメールにて自分史の問い合わせはあり、自分史文化の普及に取り組んでいる。</p> <p>(2) 「自分史相談」では、自分史を作りたい人はもちろん、自分史制作後の報告にも訪れている。自分史サークルの定期的な自分史制作活動は、地域交流の場を作りあげている。</p>		
備考			

事業名	公募自分史		
ミッション	3 普及啓発～ひろがる		
募集期間	6/15（月）～10/1（木）		
審査員	芳賀倫子（日本自分史センター相談員、シナリオライター）、安藤錦風（ノンフィクションライター）、小松原康平（中日新聞記者）		
監修	芳賀倫子（日本自分史センター相談員、シナリオライター）		

入場料等	無料		
利用者数	—	利用率	—
収入	89,000 円	助成金	—
		自主財源比率	8.0%
支出	1,111,060 円		
データ	応募数 202 作品／作品集への掲載 37 作品／作品集 1 冊 1,000 円（税込）		
事業内容	初心者でも比較的取り組みやすい短編の自分史作品を全国から公募。18 回目を迎えた。今回のテーマは「おくりもの」。コロナ禍中、自由に人と会えない状況下で「誰か」や「相手」を想う自分史を募り、作品集を発刊した。		
成果	前年に引き続き、多くの人に気軽に応募してもらうため応募作品の文字数は 400 字からとした。公募情報は、公募に関する月刊誌やインターネットへの掲載に切り替えた。応募作品数は昨年同様 200 点を越えた。		
備考			

事業名	自分史 PR イベント		
ミッション	2 鑑賞—みせる 4 地域コミュニティ形成—つながる		
日時	8/22（土）古閑裕而コンサート時		
会場	市民会館		
寄稿依頼先	自分史認定団体代表者 6 名 エッセイクラブ（建部信喜）、まいしゅの会（成瀬嘗子）、聴き書きの会（中崎光男）、自分史をかこう会（太田省三）、東部自分史友の会（各務勝彦）、日曜ペンクラブ（太田元明）		
入場者数	計 385 名	入場率	—
収入	—	助成金	—
		自主財源比率	—
支出	81,340 円		
事業内容	公演関連企画として来場者に自分史作品集を配布。春日井市の自分史認定団体代表者に本公演演奏曲にまつわる自分史を寄稿いただき、「自分史作品集」を制作。自分史サークル PR の機会を提供する。		
成果	春日井市民の注目が高い公演で、春日井市の自分史文化を知っていただける絶好の機会に、長年課題となっていた、自分史サークル団体の紹介を行うことができた。直接入会を勧誘するのではなく、自分史作品を紹介することで、気軽に自分史に触れていただき、自分史のすそ野を広げることができた。		
備考			

(2) 美術系事業

事業名	杉山新一原画展—懐かしき未来—		
ミッション	2 鑑賞—みせる		
日時	11/28 (土) ~12/20 (日) 10:00~17:00 20 日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	杉山新一		
入場料等	無料		
入場者数	2,157 名	入場率	—
		自主財源比率	37.5%
収入	36,380 円	助成金	450,000 円
		支出	1,297,178 円
事業内容	1970 年代~80 年代に子ども向け学習雑誌・図鑑・新聞・科学雑誌に発表された原画作品(原画としては初公開)のほか、プライベート作品や書籍も公開する貴重な機会となった。 展示作品/原画 168 点展示		
成果	無名ではあっても、昭和に少年期を過ごした多くの人々が一度は目にしたことのある画風を紹介することで、作家の名前ではなく「どこかで見たことがある」をきっかけに来場を促すことができた。告知には SNS を活用し、今までの財団顧客だけではカバーできない客層にアプローチすることができた。また、原画にあわせて、作家の家族のコメントも一緒に展示し、家族に対するあたたかい眼差しを紹介することで、鑑賞者の心に残る展示ができた。		
関連企画	(1)「工作飛行機をデザイン！」 会期中の土日 ギャラリー 参加無料 参加者数 224 名 (2)「親子で挑戦! 謎解きワークシート」 会期中随時 ギャラリー 参加無料 参加者数約 100 名		
備考			

事業名	みんなの美術部 2020		
新型コロナウイルスによる影響	8 講座中 1 講座振替 (1/17 を 3/28 に振替)、1 講座延期 (2/27 を令和 3 年度に延期)、1 講座臨時開催 (番外編開催)		
ミッション	6 人材育成—はぐくむ		
入場料等	1 日 500 円、小中高生 300 円 / (3) のみ 1,500 円、小中高生 1,000 円 / 番外編無料		
参加者数	計 217 名	入場率	—
		自主財源比率	57.7%
収入	101,650 円	助成金	507,334 円
		支出	1,056,248 円
事業内容	誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講座を開催。作品制作だけではなく、鑑賞することや話し合う時間も重視して実施した。 前期 (1) 芝康弘先生の「岩絵具で果物・お花を描こう!」 会場: 交流アトリウム ① 6/20 (土) ② 6/28 (日) 10:00~12:00 講師: 芝康弘 (日本画家) 参加者数①21 名 ②20 名 計 41 名 (2) 三輪布巳子先生の「オリジナルキャラクターのトートバッグを作ろう!」 会場: 交流アトリウム ① 7/4 (土) ② 7/18 (土) 10:00~12:00		

講師：三輪布巳子（イラストレーター） 参加者数①20名 ②20名 計40名
協力：名古屋造形大学

(3) 夏の遠足「やきものをみて、つくって、たのしもう！」

会場：愛知県陶磁美術館（瀬戸市） 7/23（木・祝）10:00～15:00

講師：愛知県陶磁美術館学芸員、陶芸指導員 参加者数24名

後期 (4) 安藤シオン先生の「色鉛筆で広がる世界」 会場：会議室

①12/12（土）②12/19（土）10:00～12:30

③（振替開催）3/28（日）13:30～16:30

講師：安藤シオン（イラストレーター）

参加者数①23名②21名③17名 計61名

(5) 長瀬崇裕先生の「先人に続け！イチから作る色鉛筆」 会場：会議室

1/9（土）13:30～16:30 講師：長瀬崇裕（美術作家） 参加者数21名

(6)（令和3年度に延期予定）御菓子司美乃雀 山口栄三先生の「四季を感じる和菓子のデザイン」

講師：山口栄三（和菓子職人）

(7) 春の遠足「世界に誇る毛織物・尾州ウールの魅力」

会場：テキスタイルマテリアルセンター（岐阜県羽島市）

3/13（土）13:00～17:00

講師：（株式会社イワゼン代表取締役）、足立聖（有限会社カナーレ社長）

参加者数19名

番外編「デッサンの自主練しませんか」 会場：交流アトリウム

①7/24（金・祝）②7/25（土）③7/26（日）10:00～16:00

講師：林幸秀（造形作家）、長瀬崇裕（現代美術作家）

参加者数 ①2名 ②1名 ③8名

成 果

昨年同様、10代から70代までの幅広い年齢層の参加者が集まったことから、世代間交流を促進することができた。感染予防対策をとりつつ、参加者がお互いの作品を鑑賞し合ったり、意見を交換し合ったりできるように、座席の配置方法や間隔に配慮した。参加者からは、「若い人から年配の人まで一緒に学べるのが良い」「今までよく知らなかった世界に触れることができた」「絵をたくさん描くようになった」「仕事と家庭以外で楽しみができた」といった意見が寄せられた。

備 考 助成／子どもゆめ基金

(3) 舞台系事業

事業名	古関裕而コンサート～「わがまち春日井」～		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（455席、50%以下）、市民合唱団との共演を中止		
ミッション	1 創造－つくる－		
日時	8/22（土）15:00～17:30		
会場	市民会館		
出演	柴田祥（指揮）、セントラル愛知交響楽団（管弦楽）、津田伸子・中西明（おはなし・歌） 大久保亮、杉浦孝治、西元佑、松下伸也（コーラス隊）		
入場料等	5,000円、学生の特券（小中高生）500円（6名）		
入場者数	385名	入場率 84.6%	自主財源比率 67.8%
収入	1,872,680円	助成金 1,376,000円	支出 4,791,373円
事業内容	古関裕而氏の作曲した、スポーツ、放送、演劇、映画など昭和を彩る5,000曲の中から、選りすぐりの30曲をオーケストラと歌手による生演奏で演奏した。		
成果	NHK朝の連続テレビ小説「エール」の放映に合わせてコンサートを実施し、ドラマで馴染みのある名曲を生演奏で楽しんでいただくことができた。また40年前に作られた市民歌「わがまち春日井」を紹介したことにより、市民に改めて市や歌に愛着を持っていただく機会となった。王子製紙や名城大学の曲も演奏し、地元の企業・大学との関わりも持つことができた。		
備考	共催／春日井市 協力／福島市、豊橋市、福島市古関裕而記念館 資料提供／東宝株式会社演劇部、王子製紙春日井工場 企画制作／公益財団法人かすがい市民文化財団、幸田町文化振興協会 助成／芸術文化振興基金		

事業名	【共催】ミュージカル「忍たま乱太郎」第11弾 ～泣く子も笑う！これぞ忍たま 恐怖のきもだめし!!～		
新型コロナウイルスによる影響	当初財団主催公演を製作委員会との共催公演に変更 座席数を制限（464席、50%以下）		
ミッション	2 鑑賞－みせる 4 地域コミュニティ形成－つながる		
日時	11/14（土）①12:00～14:00（308名入場） ②17:00～19:00（302名入場） 11/15（日）③11:30～13:30（377名入場） ④16:30～18:30（388名入場）		
会場	市民会館		
出演	湯本健一、渡辺和貴、新井雄也、木村優良、鈴木祐大、反橋宗一郎 他		
入場料等	S席 12,000円（忍ミュ限定応援グッズ付き）、A席 10,000円		
入場者数	計1,375名	入場率 74.1%	自主財源比率 173.9%
収入	53,075円	助成金 ー	支出 30,525円
事業内容	全国からファンが訪れる2.5次元ミュージカル。3度目の春日井公演を開催。コロナ禍においても劇場と地域が連携し、地域活性化に取り組む。		

成 果	出演者全員のマスク着用、上演中の換気タイム、前方座席の来場者のフェイスシールド着用など、感染症対策を講じながら実施した大型公演。財団ホームページでは、JR 春日井駅から市民会館までの地図や、地元の飲食店を紹介。また春日井市観光コンベンション協会の協力を得て、駅での臨時クロークの開設など地域連携によるおもてなし企画に取り組んだ。また、最前線で東京・地方公演を実施する製作委員会から、技術・スキルならびに感染症対策を学ぶ機会となった。
備 考	

事業名	【共催】 JAPAN LIVE YELL project@AICHI あいちオーケストラフェスティバル		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限（474席、50%以下）		
ミッション	2 鑑賞—みせる—		
日 時	12/2（水） 18:30～20:30		
会 場	市民会館		
出 演	古谷誠一（指揮）、セントラル愛知交響楽団		
入場料等	500円		
入場者数	440名	入 場 率	92.8%
		自主財源比率	1,270.8%
収 入	250,000円	助 成 金	—
		支 出	19,673円
事業内容	コロナ禍において大きな制約を受けることとなった文化芸術の熱意をふたたび取り戻すため、文化芸術に関する催しを全国各地で開催する「JAPAN LIVE YELL project@AICHI」におけるオーケストラプログラム。フルオーケストラを500円で楽しめるコンサートを県内のホールで開催し、文化芸術に親しみ、携わる人々に活力を与えられる機会とする。		
成 果	フルオーケストラの演奏を500円で聴けるということから、クラシック音楽ファンに加えて、家族連れや若年層など、あまりクラシックコンサートを鑑賞したことのない方まで幅広い層の来場者が訪れた。誰もが耳にしたことのある曲目が演奏され、プロの演奏を生で鑑賞できるクラシックコンサートの魅力や楽しみをダイレクトに感じていただくことができた。また、後日、コンサートを収録した映像を配信した。		
備 考	主催／文化庁、(公社)日本芸能実演家団体協議会、愛知県芸術劇場		

事業名	演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト		
新型コロナウイルスによる影響	2/20（土）、21（日）2公演中止（令和2年度からの延期公演）、動画配信（2本）		
ミッション	1 創造—つくる		
会 場	文芸館、市民会館		
講 師	有門正太郎（俳優・演出家）、アシスタント4名（服部哲郎、杉山絵理、石黒圭一郎、坪尾光起）		
入場料等	一般前売1,000円（当日1,500円）、学生の特券（小中高生）500円		

入場者数	—	入 場 率	—	自主財源比率	60.0%
収 入	266,826 円	助 成 金	294,987 円	支 出	936,358 円
事業内容	<p>演劇創作を通じて、市民とともに「自分史」の魅力を見出すプロジェクト。令和2年度、3か年計画で展開してきた企画の3年目は、新型コロナウイルス感染拡大によって公演が1年後に延期となった。コロナ禍中、舞台公演、映像上映会と発表の可能性を探ったが、最終的には公文協シアターアーカイブスにて、最後の止め直し稽古をもとにした「本編映像」・「ドキュメント」の2作品を配信した。</p> <p>(1) ワークショップ 顔合わせ会、講師との個別面談 11月～1月(計11回) 参加者数：計59名</p> <p>(2) 演劇×自分史第3弾公演「春よ恋」(延期公演) 市民会館 2/20(土)、21(日) 14:00～15:10</p> <p>(3) 映像配信 ①演劇×自分史 第3弾公演「春よ恋」(未上演) 公開3/22(月) 視聴回数118回 サンプル動画再生数466回 ②演劇×自分史 第3弾公演「春よ恋」ドキュメント 公開3/26(金) 視聴回数102回 サンプル動画再生数270回</p>				
成 果	<p>舞台上での公演実施はできなかったが、動画配信にて作品を発表することができた。大勢の人が関わる市民劇において作品への区切りをつけ、コロナ禍中、人との触れ合いや共感の場が減ってしまっている今、自分史を扱う意義を再認識することができた。</p>				
備 考	助成／文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)				

事業名	親子のためのファミリーシアター! 「にんぎょひめ」				
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限(196席、50%以下)				
ミッション	2 鑑賞一みせる				
日 時	8/8(土) ①10:30～11:40(154名入場) ②14:00～15:10(122名入場)				
会 場	東部市民センター				
出 演	to R mansion、藤田善宏(CAT-A-TAC/コンドルズ)、Coppelia Circus、ヤノミ(小心ズ)、チャタ、佐川健之輔、遠藤昌宏				
入場料等	2,500円、学生の特券(小中高生)500円(42名)				
入場者数	277名	入 場 率	70.7%	自主財源比率	56.9%
収 入	503,700円	助 成 金	1,553,706円	支 出	3,619,248円
事業内容	<p>パントマイムやマジックなど様々な視覚表現、暗闇と照明を使った珍しい演出技法を用いた舞台作品で、乳幼児から大人まで家族と一緒に舞台作品を鑑賞できる機会を提供した。</p>				
成 果	<p>にんぎょひめのオリジナルストーリーがコミカルかつ姉妹愛が涙を誘う内容で、子どもにも大人にも楽しんでいただけた。親子で久しぶりの外出、舞台鑑賞になったという来場者も多く、演者たちの息遣いや表情、同じ会場に居合わせた来場者たちの笑い声などその場でしか体感できない「生の舞台の良さ」を再認識していただける機会を提供することがで</p>				

	きた。また、親子でも間を1席空ける必要があったため、小さな子が不安にならないようお気に入りのぬいぐるみを隣に座らせてもらうよう呼び掛けたところ、多くの来場者がぬいぐるみを持ち寄って訪れた。座席にはチラシに使用したイラストで間隔を空けた着席を呼びかけるシートも掲示し、子どもが寂しくない工夫ができたうえ、会場が楽しい雰囲気にも包まれた。客席が埋まることにより、演者からもとても喜ばれた。
備考	協賛／サンマルシェ 助成／文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

事業名	津軽三味線☆三絃士コンサート～BEGINNING～		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限(228席、50%以下)		
ミッション	2 鑑賞－みせる－		
日時	9/12(土) 15:00～16:30		
会場	東部市民センター		
出演	馬場淳史、伊藤ケイスケ、杉山大祐(津軽三味線☆三絃士) 浅野聡太(サポートメンバー、和太鼓)		
入場料等	3,500円、学生の特券(小中高生)500円(10名)		
入場者数	180名	入場率	78.9%
		自主財源比率	72.6%
収入	579,200円	助成金	—
		支出	798,129円
事業内容	春日井市広報大使である馬場淳史を中心に、東海地方出身の流派の違う若手三味線奏者で結成された津軽三味線☆三絃士。全国大会で数々の入賞歴のある3人が奏でる三味線に触れる機会となった。		
成果	最新曲から伝統的な民謡まで幅広い演奏を披露し、来場者を魅了した。新型コロナウイルスの影響でコンサートが長く中止となっていたこともあり、アンケートの回答からは、老若男女問わず楽しんでいただき再公演の希望も多く、満足度が高かった。		
備考			

事業名	若手音楽家支援事業		
新型コロナウイルスによる影響	(2)は2/14(日)公演中止し、3/20(土・祝)に延期開催、座席を制限(255席)		
ミッション	6 人材育成－はぐくむ		
会場	(1)視聴覚ホール、(2)ホテルプラザ勝川		
入場料等	(1)500円、(2)一般1,000円、学生の特券(小中高生)500円(15名)		
入場者数	計233名	入場率	91.3%
		自主財源比率	68.4%
収入	123,000円	助成金	319,511円
		支出	707,192円
事業内容	地域に根差した音楽家を育てることを目的に、若手音楽家を3年間にわたり活動支援するプログラム。		

	<p>(1) 11/1 (日) 15:00~16:30 第7回ワンコインコンサート「Trombone Ensemble Gaio」 入場者数：104名(販売数126席) 出演：天野有華、大西里紗、桂山祐未、中澤明子 (トロンボーン)</p> <p>(2) 3/20 (土・祝) 14:00~15:30 チョコッと延期「バレンタインコンサート」 入場者数：129名 出演：MeisA、Trombone Ensemble Gaio、ASTER</p>
成 果	<p>ワンコインコンサートについては、令和元年度延期となった公演が実現した形となり、当日は満席でお客様をお迎えする結果となった。当日券を求めるお客様が多く、着実に回数を重ねてきた結果、若手によるワンコインコンサートの存在が定着してきたといえる。緊急事態宣言のため2/14の公演を延期し3/20に開催した、第2期登録アーティストたちによる「バレンタインコンサート」は、ホテルプラザ勝川で開催。贅沢な雰囲気の中若手音楽家の演奏をお届けした。</p> <p>また、来場者に「地元の若手音楽家を応援しませんか?」と呼び掛け、コンサート2件の合計で41,235円の寄附をいただいた。</p> <p>令和2年度はコロナ禍中、どうやって演奏の場を提供するかを念頭に入れながらの活動となった。合同演奏の企画段階では、出演者同士の親交をはかるため、Zoomを用いた出演者打合せをおこなった。コンサートに関しての意見を出し合い、「一緒に演奏を行う仲間」として顔合わせができたことは、一つの成果といえる。</p>
備 考	<p>助成／文化庁文化芸術振興費補助金（地域の中核劇場・音楽堂等強化推進事業（人材養成事業）） 寄附金／41,235円（特定寄附金に積立て）</p>

事業名	昼コン&夜コン、親子のためのはじめての音楽会		
新型コロナウイルスによる影響	(1)～(6) 4/11(土)～6/26(金)の6公演は動画配信に変更 交流アトリウムのみ座席数を制限(250席、通常の8割以下で用意)		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
会場	交流アトリウム、市民会館		
入場料等	無料		
入場者数	計1,719名	入場率	— 自主財源比率 77.6%
収入	288,134円(寄附金等)	助成金	372,345円 支出 851,269円
事業内容	<p>お喋りを交えた気軽に聴ける無料コンサート。月2回、土曜日の昼と金曜日の夜に開催。子どもと一緒に生の音楽を聴く経験ができる、はじめてのコンサートも実施。クラシックだけではなく、ポップスなど幅広い曲を演奏し、音楽の楽しさを伝える。</p> <p>(1) 4/11(土) 第241回「陽気な春に」[動画配信] 出演：横田愛(フルト)、船渡美歩(クラリネット)、秀平雄二(ピアノ)</p> <p>(2) 4/24(金) 第242回「歌とフィドルで語る夜」[動画配信] 出演：mocha motti with 悠情 朝香(ボーカル)、望月雄史(ギター・ボーカル)、悠情(ヴァイオリン)</p>		

- (3) 5/16 (土) 第 243 回「豊かに香る詩」[動画配信]
出演：Shiki's Friends 詩貴(マリンバ)、鈴木豊大(パーカッション)、太田紗耶香(ピアノ)
- (4) 5/29 (金) 第 244 回「サクソフォンとピアノで送る愛曲集」[動画配信]
出演：石川貴憲(サクソフォン)、佐藤杏奈(サクソフォン)、古川絢瑛(ピアノ)
- (5) 6/13 (土) 第 245 回「弦楽器だけの「アルネア」」[動画配信]
出演：アルネア・トリオ 山縣郁音(ヴァイオリン)、川上拓人(ヴァイオラ)、清水唯史(チェロ)
- (6) 6/26 (金) 第 246 回「雨上がりの贈り物」[動画配信]
出演：Quartet la Clart'e 森岡日向野(フルート)、岩井遥(クラリネット)、三吉彩生(ファゴット)、加藤帆乃夏(ピアノ)
- (7) 9/11 (金) 19:00～20:00 第 247 回「夜のカルテット～夏の日は過ぎて～」
入場者数：124 名 出演：サラマンカホール・レジデント・カルテット 西村洋美、波馬朝加(ヴァイオリン)、太田奈々子(ヴァイオラ)、紫竹友梨(チェロ)
- (8) 9/19 (土) 14:00～15:00 第 248 回「シアタールームへようこそ！」
入場者数：223 名 出演：Lune 伊藤美佳里(クラリネット)、横地眞弘(サクソフォン)、耕作彦充(ピアノ)
- (9) 10/3 (土) 14:00～15:00 第 249 回「秋のひだまりにつつまれて」
入場者数：270 名 出演：Trio Primavera 林里紗(フルート)、小笠原歌歩(オーボエ)、蒔田裕也(ピアノ)
- (10) 10/30 (金) 19:00～20:00 第 250 回「BULL NIGHT」
入場者数：330 名 出演：BULL 川地立真(サクソフォン)、瀧彬友(サクソフォン)、三輪一登(サクソフォン)、大嶋漢(サクソフォン)、小田和来(サクソフォン)、山田信晴(ドラム)
- (11) 11/6 (金) 19:00～20:00 第 251 回「紅葉の錦 タンゴの夕べ」
入場者数：170 名 出演：シュテルン弦楽四重奏団 水野慎太郎(ヴァイオリン)、大島歩(ヴァイオリン)、祖父江依子(ヴァイオラ)、星野順一(チェロ)
- (12) 11/27 (金) 19:00～20:00 第 252 回 特別編「上冬に煌めくギターの調べ」
入場者数：332 名 出演：井草聖二(ギター)

親子のためのはじめての音楽会

3/17 (水) ①10:00～10:30②11:30～12:00

入場者数：①148 名②122 名 合計 270 名 出演：トリオミシシッピ

石川貴憲(サクソフォン)、丸尾祐嗣(ピアノ)、鈴木豊大(パーカッション)

コロナ禍において、自宅でも音楽を楽しんでいただけるよう「おうちでbフラット mini コン」と題した動画配信を行った。すべての出演者に協力していただき、再生回数は合計 2,041 回 (R3.3 月末時点) と、多くの方に視聴していただけた。また、9 月から公演を再開。座席の間隔を空け、最大 250 席とし、出入口に設けて消毒・検温してから入場していただくスタイルに変更し、お客様に安心してコンサートを楽しんでいただくことができた。

備考 助成／文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

事業名	かすがい日曜シネマ		
新型コロナウイルスによる影響	座席数を制限 視聴覚ホール（1）45席25%以下、（2）以降88席50%以下 東部市民センター（1）74席15%以下、（2）以降190席50%以下 1 上映を令和3年度に延期		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
会場	視聴覚ホール、東部市民センター		
入場料等	前売800円、当日1,000円、学生の特券（小中高生）500円（24名）		
入場者数	計1,147名	入場率 78.2%	自主財源比率 77.5%
収入	1,062,034円	助成金 ー	支出 1,370,400円
事業内容	<p>舞台芸術や音楽をテーマとした良質な映画を上映。映画上映前には職員によるミニ・トークを開催。市内ボランティア団体による、音声ガイド付きの上映も行っている。来場者からの熱い要望に応え、令和2年度から1作品を視聴覚ホールと東部市民センターの2館で上映することとなった。</p> <p>（1）第79回「グリーンブック」 6/14(日)視聴覚ホール①42名②42名、7/5(日)東部市民センター70名</p> <p>（2）第80回「アンドレア・ボチェッリ 奇跡のテノール」 9/6(日)東部市民センター180名、9/13(日)視聴覚ホール①67名②76名</p> <p>（3）第81回「ストーリー・オブ・マイライフ～わたしの若草物語～」 12/6(日)東部市民センター148名、(令和3年度に延期) 1/31(日)市民会館</p> <p>（4）第78回「バジュランギおじさんと小さな迷子」 11/22(日)東部市民センター①104名②153名</p> <p>（5）第82回「チア・アップ！」 3/7(日)東部市民センター135名、3/14(日)視聴覚ホール①70名②60名</p> <p>視聴覚ホールは、①10:15～、②13:45～（②は音声ガイド付き上映） 東部市民センターは、13:30～（音声ガイド付き上映）</p>		
成果	かねてより各回上映を希望されていた東部市民センターでの上映会は毎回参加率が高く、来場者アンケートにも東部地区での開催を喜ぶコメントが多く書かれた。それぞれの会場では、アンケートや口頭で「感染対策がしっかり行われており安心」という声が寄せられ、お客様に安心して映画を楽しんでいただける運営ができた。		
備考	共催／春日井市東部市民センター 協力／ボイスケイン、ボイスくら		

事業名	生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 全国ツアー		
新型コロナウイルスによる影響	1 公演を動画配信に変更（②10/6（火）聖徳大学） 1 公演延期（③西宮公演8/9（日）、10（月・祝）を10/31（土）、11/1（日）に延期） 各会場座席数を制限		
ミッション	1 創造一つくる		
日時会場	① 9/20（日）14:00～16:00	ゆめたろうプラザ	輝きホール《ピアノ版》
	② 10/6（火）18:30～19:30	聖徳大学	[動画配信]
	③ 10/31（土）13:00～15:30	兵庫県立芸術文化センター	KOBELCO 大ホール《ピアノ版》

	④ 11/1 (日) 15:00~17:30 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール ⑤ 12/18 (金) 19:00~21:00 上田市交流文化芸術センター (サントミュージーゼ) 小ホール《ピアノ版》 ⑥ 12/20 (日) 14:00~16:00 さいき城山桜ホール《ピアノ版》 ⑦ 1/16 (土) 15:00~17:00 上田市交流文化芸術センター (サントミュージーゼ)		
出演	高橋多佳子 (①③④⑥)、岡田奏 (②)、菊池洋子 (⑤⑦)、茂木大輔 (②③④⑦)、 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 (②)、日本センチュリー交響楽団 (③)、 群馬交響楽団 (⑦)		
入場料等	—		
入場者数	オーケストラ版 2,229 名 ピアノ版 1,639 名	入場率 —	自主財源比率 1,858.3%
収入	695,000 円	助成金 —	支出 37,400 円
事業内容	平成 18 年から続く、春日井発「のだめ音楽会」の全国ツアー。舞台監督、映像作成・オペ レートを当財団職員で行っている。これまでにオーケストラ版 107 公演、ピアノ版 14 公 演、延べ 156,674 名動員。		
成果	各地のホールと連携ができ、お客様にも喜んでいただけた。各ホールの要望をヒアリング しながら、地域にあわせたプログラムを提供できた。		
備考	企画／茂木大輔、公益財団法人かすがい市民文化財団		

(4) アウトリーチ事業

事業名 アウトリーチ事業			
新型コロナウイルスによる影響	(1) 23 回中 12 回中止、実施 11 回中 4 回延期		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる	6 人材育成ーはぐくむ	
入場料等	無料		
参加者数	計 1,535 名	入場率	—
		自主財源比率	21.7%
収入	—	助成金	182,868 円
		支出	841,758 円
事業内容	<p>(1) かすがい どこでもアート・ドア (音楽・伝統芸能)</p> <p>各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣し、演奏やワークショップを通して「特別なアートの時間」を届ける事業。文化・芸術を身近に体験する機会を提供した。</p> <p>音楽／講師：ASTER 近藤加奈子 (ソプラノ)、二川理嘉 (ヴァイオリン)、蒔田裕也 (ピアノ)</p> <p>① 7/15 (水) 大手保育園【中止】</p> <p>② 10/20 (火) 緑ヶ丘老人憩いの家 【7/21 (火) の延期公演】 参加者数：48 名</p> <p>音楽／講師：MeisA 名倉明里、安田有沙 (ピアノ)</p> <p>① 11/29 (日) 小野区学習等供用施設 53 名</p> <p>② 1/15 (金) 高森台保育園 66 名</p> <p>音楽／講師：Trio Primavera 林里紗 (フルート)、蒔田裕也 (ピアノ・アレンジ)、小笠原歌歩 (ホルン)</p> <p>① 9/17 (木) 白山保育園【中止】</p> <p>② 2/10 (水) 春日台特別支援学校 【7/11 (土) の延期公演】 参加者数：100 名</p> <p>音楽／講師：BULL 瀧彬友、三輪一登、大嶋漢、小田和来、川地立真 (サクソフォン)、山田信晴 (打楽器)</p> <p>① 9/9 (水) 出川保育園【中止】</p> <p>② 10/13 (火) 玉川保育園【中止】</p> <p>③ 12/18 (金) 神領小学校 【10/14 (水) の延期公演】 参加者数：490 名</p> <p>音楽／講師：Shiki's Friends 詩貴 (マリンバ)、鈴木豊大 (パーカッション)、太田紗耶香 (ピアノ)</p> <p>① 9/15 (火) 追進保育園【中止】</p> <p>② 10/4 (日) 水辺老人憩いの家 40 名</p> <p>③ 10/31 (土) 生活介護Masa夢 32 名</p> <p>④ 11/11 (水) 西尾小学校 90 名</p> <p>音楽／講師：Lune 伊藤美佳里 (クラリネット)、足立真里那 (サクソフォン)、耕作彦充 (ピアノ)</p> <p>① 10/3 (土) 石尾台小学校【中止】</p> <p>音楽／講師：馬場淳史 (三味線)</p> <p>① 5/9 (土) 愛知県立春日井高等特別支援学校【中止】</p> <p>② 10/29 (木) 春日井保育園 80 名</p>		

③ 3/11 (木) 桃花園老人憩いの家【中止】

伝統芸能／講師：藤間勘揚、藤間勘之介（日本舞踊）

① 6/27 (土) 徳農学習等供用施設【中止】

② 7/10 (金) 神屋町社会福祉協議会 場所：福祉の里【中止】

③ 3/23 (火) 篠木四ツ谷集会所【11/1(日)の延期公演】 50名

伝統芸能／講師：若鯨亭笑天（落語）

① 8/12 (水) 六軒屋公民館【中止】

② 9/8 (火) 春日井東高校【中止】

③ 1/13 (水) 南花長町町内会 20名

(2) 井草聖二 アウトリーチ&コンサート

ギタリスト井草聖二によるアウトリーチ&ミニコンサート。中学生に向けたアウトリーチを行った。ミニコンサートは、夜コン特別編として実施した。

11/27 (金) 13:35～14:20 南城中学校中学3年生 参加者数 300名

(3) かすがい どこでもアート・ドア（図工・美術）

小学校を対象に芸術家による図工授業を実施した。

「ふきあがる風にのせて」（篠原小学校3年生・美術ワークショップ）

11/11 (水) 9:40～11:25

講師：三上俊希（事業推進グループスタッフ） 参加人数：83名

ビニール袋を送風機からふき上がる風にのせ、動きを観察する授業を行った。

「土で描く」（牛山小学校3年生・美術ワークショップ）

3/10 (水) 10:35～12:00 3年1組、13:20～14:45 3年2組

講師：芝佐和子（日本画家） 参加人数：計49名

様々な種類の土にボンドを混ぜて土絵具を作り、手で段ボールに絵を描く授業を行った。

(4) 演劇部ワークショップ

11/28 (土)、3/13 (土) 9:00～12:00 南城中学校演劇部

講師：有門正太郎（俳優・演出家） 参加者：11/28 (土) 17名、3/13 (土) 17名

発声の基本や滑舌を良くする方法、演技指導を行った。

成 果

(1) 中止になった派遣先から惜しまれる声があった。開催に至る場合も、アーティストの理解と協力で、調整しての公演や延期公演を実現した。アーティストが幼児や高齢者など遠出が困難な方々の身近なコミュニティの場に出向いて演奏することで、行く先々で「非日常」の一時を過ごしてもらうことができた。アーティストにとっても、音響の条件が整わない環境下で観客の期待に応える選曲やトークを試行錯誤するなど、経験値を上げる良い機会となった。

(2) 中学校でのアウトリーチは、プロの生演奏とともに井草氏の学生時代の経験やメッセージを得られる貴重な機会となった。コンサートでは、多くの市民に演奏に触れられる機会を提供することができた。

(3) いずれも「準備に手間がかかる。教員が単独で指導しづらい単元」をアーティストや財団職員の関わりによって、教員の負担を減らしながら、児童らの表現力と発想力を広げることができた。

(4) プロの演出家である有門氏が実際に演出を付けていくことで、生徒たちの演技がみるみるうちに変わっていった。顧問の先生方にとっても、今後の参考になる貴重な時間となった。

備 考

助成／文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
寄附金／43,667 円（春日井市メセナ基金に充当）

(5) 施設サービス系事業

事業名	スタインウェイピアノ開放します！		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
日時	8/14 (金) 10:15～、8/15 (土)、16 (日) 8:45～ (計 17 枠) 1/5 (火) 11:15～、1/6 (水) 8:45～ (計 10 枠) (全共通：1 枠 1 団体 60 分、終了時間 17:15)		
会場	市民会館		
参加者	公募による抽選で選ばれた市民		
入場料等	利用料 1,000 円、録音サービス料 500 円		
参加者数	計 112 名	入場率	— 自主財源比率 61.8%
収入	34,000 円	助成金	— 支出 55,000 円
事業内容	市民会館のスタインウェイピアノを、ホールを貸し切って 1 時間自由に弾ける企画。毎年好評をいただいております、令和 2 年度は 8 月と 1 月の 2 回開催。		
成果	通常 15 分のインターバルを換気・消毒のために 30 分に延ばし、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で開催した。8 月に 30 組、1 月に 55 組の応募があり、抽選で選ばれた合計 27 組の家族や友人たちが、練習や撮影、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまうピアノの代替演奏会など、参加者が思い思いの方法でピアノとの時間を楽しんだ。		
備考			

事業名	舞台制作セミナー		
ミッション	5 活動支援ーささえる		
会場	市民会館		
受講料等	無料		
受講者数	計 42 名	入場率	— 自主財源比率 —
収入	—	助成金	— 支出 6,319 円
事業内容	市内高校の吹奏楽部と演劇部の生徒を対象に、照明・音響・舞台技術の基礎知識を伝えるセミナー。演劇版では参加者と舞台大道具を実際に製作しながら、実践的な指導をした。吹奏楽版では、それぞれの定期公演で応用できる演出方法とその作り方や、コロナ禍での機材の取り扱いなど、具体例を交えながら指導した。 (1) 高校演劇版 9/26 (土) 9:00～12:30 市民会館 受講者数 32 名 (春日井高校、春日井商業高校) (2) 高校吹奏楽版 1/9 (土) 9:30～11:30 市民会館 受講者数 10 名 (春日井南高校、高蔵寺高校)		
成果	演劇版では、木地の作成から色塗り、完成までの製作の行程を楽しみながら技術を学ぶことができた。吹奏楽版では照明演出例を示しながら、映像で操作卓の様子を投影するなど、具体的な指導ができた。また、職員によるオープニング演出を見せることで受講者は職員に親しみを覚え、リラックスした場にすることができた。演劇版、吹奏楽版とも、受講者は		

財団職員に積極的に質問しながら熱心に学んでいた。	
備	考

事業名	かすがいストリートピアノ		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
日時	7/5（日）、19（日）、23（木・祝）～26（日）10:00～16:00 計6日間		
会場	交流アトリウム		
参加料等	無料		
参加者数	計459名	入場率	—
		自主財源比率	—
収入	—	助成金	—
		支出	—
事業内容	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言による活動自粛で、文化フォーラム春日井の施設利用が減り、それに伴って市民が芸術文化を身近に触れられる機会も減ってしまった。この状況を改善すべく、各地で行われている「駅ピアノ」などを参考に、緊急事態宣言解除後に感染防止対策をとりながら実施した。この事業では、来館者が誰でも自由に弾けるピアノを交流アトリウムに設置し、気軽に生の芸術文化に触れることができる機会とした。		
成果	ピアノを初めて触る人や経験者、演奏の動画撮影者など、様々な方がストリートピアノを楽しんだ。ピアノの音が響く交流アトリウムは活気を帯び、施設の活性化につながった。また、自分で弾くだけでなく、他の参加者の演奏にも耳を傾け拍手を送るなど、世代や性別を超えた交流の場となった。		
備	考		

事業名	かすがい文化フェスティバル2020		
新型コロナウイルスによる影響	7/26（日）スペシャルDAY中止 8/6、13、20、27（木）夏休みワークショップ中止		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる	4 地域コミュニティ形成ーつながる	
会場	市民会館、屋外広場		
参加者数	計180名	入場率	—
		自主財源比率	9.6%
収入	4,400円	助成金	5,332円
		支出	101,930円
事業内容	<p>8月のお盆の時期に、親子で参加できる春日井市民会館謎解きツアーを2日間開催。また、児童文学作品を原作とした芸術性の高いアニメーション映画を市民会館で鑑賞する映画会も実施。</p> <p>(1) ワークショップ</p> <p>「親子で挑戦！謎解きゲーム in 市民会館 Vol.3 ～開演ブザーを鳴らせ！！～」 8/10（月・祝）、13（木） ①10:00～11:45 ②13:00～14:45 ③15:00～16:45 市民会館 参加料：1チーム200円 参加者数：22チーム74名 講師：かすがい市民文化財団スタッフ</p>		

	(2) 夕涼みシネマ「ヒックとドラゴン」 8/15 (土) 19:00～20:40 市民会館 入場無料 参加者数：106名
成 果	(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、密になりやすい7月のスペシャルDAY及び8月のワークショップを中止とした。また、謎解きゲームは、「15分毎のスタート」「家族のみの参加」等、感染防止策を講じて開催した。アンケート結果からも、「普段入れないところに入れて楽しかった」「音響・照明操作が楽しかった」という声が多く、普段できない体験ができたことが満足度につながったと考える。各所に職員が待機し、安全管理及び機械等の説明を行うことで、春日井市民会館に勤務する職員との交流の場も生み出し、夏休みの思い出作りの機会を提供できた。 (2) 例年、屋外広場で上映を行っていたが、上映日が記録的な猛暑日であったことから、熱中症対策として春日井市民会館に会場を変更した。涼しく、ソーシャルディスタンスもとれる会場で、親子で映画を楽しんでいただくことができた。
備 考	助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	アトリウム音楽祭		
新型コロナウイルスによる影響	秋) 出場枠を削減 (50%)、開催日数を2日間から4日間に変更 春) 出場枠を削減 (62.5%)		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料、参加料は運営協力費として1団体5,000円		
入場者数	計808名	入 場 率	38.4%
		自主財源比率	61.8%
収 入	125,000円	助 成 金	—
		支 出	202,143円
事業内容	<p>市民参加型の音楽発表会を秋と春の年2回開催。市内外で活躍しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表。令和元年度3月の春公演2日間をコロナ禍の影響で中止したことから、当時出演を予定していた団体にも出演機会を設けるため、秋公演の開催日数を4日間に拡大した。</p> <p>(1) [秋] 9/20 (日) 11:00～13:45、21 (月・祝) 11:00～17:45、 26 (土) 11:00～17:45、27 (日) 11:00～15:45 出演者13団体 (197名)、入場者数598名 琴古流尺八長月会、Kahawainani Hula Halau、カパフラオプアラニプアメリアティアレカハイア、かすがいウィメンズブラス、M à la carte、キッズダンスサークル、公益社団法人 関西吟詩文化協会 東尾張支部、現代邦楽会・春日井、コーラスグループさくら、オカリナ七重奏リリカ、ウクレレユニット・レインボーガーデン、Puanani Aloha、春日井市能楽連盟</p> <p>(2) [春] 3/20 (土・祝) 11:30～16:45、21 (日) 11:30～16:45 出演者8団体 (151名)、入場者数440名 オカリナラルゴ、Hula Halau Ka Makani O Hawaii、オカリナ・マーゴ、Δ Ocarina フラオリタヒチ マカリィ、Oriental × Face、ハーラウ・ワア・カウルア・ハア</p>		

	<p>リ・マオヒ、ウクレレデュオ なるもみ</p> <p>※出演を予定していた計4団体は、出演を見送ることになった。主な理由は、緊急事態宣言によって市内施設を用いた練習ができなくなったことや、感染リスクを回避するためであった。</p>
成 果	<p>令和元年度[春]中止の2日間を[秋]に加え4日間としたことで、出演参加団体の枠を増加し、オカリナ合奏、ウクレレデュオ、合唱など、様々な音楽団体が舞台に立った。コロナ禍の影響で中止となるイベントが増えたため、アトリウム音楽祭に出演の場を求めて参加する新規団体も見られた。出演者からは、「1年半ぶりにステージに立つことができよかった」と終演後に声をかけていただけたり、感染症対策への満足度も高く、成果発表の場が失われるなかでのイベント開催は、観客、出演者から好評を得られた。</p> <p>他事業で培った新型コロナウイルス感染症対策の経験を活かし、オープンスペースでも、安全・安心して楽しめるコンサートを作り上げることができた。</p>
備 考	

事業名	【共催】とっておきのクリスマスコンサート		
新型コロナウイルスによる影響	座席定員数を50%以下に縮小し、定員数は482席となった。		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日 時	12/6 (日) 15:00~17:00		
会 場	市民会館 (交流アトリウムから変更)		
参加者	春日井児童合唱団		
入場料等	無料		
入場者数	280名	入 場 率	58.1%
収 入	—	助 成 金	—
		支 出	22,000円
事業内容	春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサート。ジュニア、シニアに加え、成人した合唱団OB・OGも参加し、クリスマスソングを歌う。		
成 果	改修工事の関係で例年と会場が異なったが、広い会場になったことで新型コロナウイルスの対策ができ、出演者・観客が安心して楽しめる公演づくりができた。また、市民会館の音響システムを利用できたため、マスク着用の状態でも安定した音響を客席に届けることができた。ステージの飾りつけは合唱団の子供たちと共同で行い、公演の円滑な運営を支援できた。		
備 考	主催/春日井児童合唱団		

(6) 広報系事業

事業名	広報宣伝事業		
収入	44,000 円	支出	502,484 円
		自主財源比率	8.8%
事業内容	より多くの市民に当財団の活動を“認知・理解・支援”していただくためにパブリシティ活動を行い、新聞・テレビ・雑誌などの他社媒体への露出を図り、当財団及び事業のPRを行った。事業のビジュアル制作を戦略的に行い、届けたい市民に伝わるスキーム作り、媒体作りを行った。		
実績	《記事掲載》中日新聞 42 回、朝日新聞 6 回、西日本新聞 1 回、テレビ 1 回、ラジオ 4 回、ネットテレビ 1 回、ケーブルテレビ 11 回、雑誌タウン誌 34 回、web メディア 3 回		
成果	コロナ禍の影響から、セッティングしていた取材が次々キャンセルとなり、事業も中止となる中、8 月に開催した「to R mansion にんぎょひめ」の公演については、出演者や記者の協力を得てリモートで新聞取材を行うことができ、集客につなげた。「ミュージカル忍たま乱太郎」では地元商店街や観光コンベンション協会と連携し、春日井駅前での出張販売や商店街マップなどを配布。多くの来場者から「春日井に来て良かった」という声を得ることができた。また、事業宣伝用のビジュアルは、事業推進グループと連携して効果的な媒体として作り上げ、巡回先の兵庫県豊岡市の公演でも活用された。		
備考			

事業名	情報発信事業		
助成金	1,551,896 円	支出	5,900,172 円
		自主財源比率	26.3%
事業内容	自主事業を中心とした文化芸術情報及び施設に関する情報を誌面や HP、映像や SNS 等の自社媒体で広く発信した。		
実績	<p>(1) 広報誌「FORUM PRESS」発行 98 号 12P/3,000 部、99 号 12P/6,000 部、100 号 24P/8,000 部、101 号 B5 サイズ/20P/7,000 部 4 回発行</p> <p>《配布状況》県内 331 施設、県外 50 施設に配布 (98 号は市外施設配布は無し)</p> <p>《FORUM PRESS レポーター》登録人数 12 名、活動公演数 10 回、研修等 1 回、参加人数延べ 25 名、誌面掲載記事 7 本、HP 掲載記事 14 本</p> <p>(2) HP 運営 ・コラムあれこれの新設</p> <p>・随時更新、チラシの PDF、関連動画などの掲載</p> <p>(3) SNS 運営 twitter フォロワー数 1,152、LINE お友だち人数 424</p> <p>(4) 財団設立 20 周年記念事業 財団ロゴの作成、かすがい どこでも アート・ドア ロゴ作成</p>		
成果	(1) コロナ禍において紙媒体の配布が難しくなり、情報誌「FORUM PRESS」は社会状況を鑑みながら、部数とページ数を調整し発行した。10 月に発行した 100 号では、これまでの営みや培ってきた関係性をフルに盛り込み、充実の内容を掲載することができた。101 号から B5 サイズに変更し、自主事業だけでなく受託事業、貸館利用者などもピックアップし、新たな形でのリニューアルを行うことができた。引き続き地域にまつわるコンテンツを充実していく。FORUM PRESS レポーターは、コロナ禍にお		

	<p>いても新規参加があり、またお家で楽しめるコラムを執筆してもらうなど、様々な工夫を行いながら随時活動した。</p> <p>(2) HP では随時コンテンツ発信できるようなコラムの新設や、動画配信なども試みた。</p> <p>(3) LINE を開設し、新たな情報発信ツールとして位置づけ、スタンプの販売もスタートした。</p> <p>(4) 財団設立 20 周年事業として、財団ロゴを作成した。今後、財団のブランド展開として様々な活用していく。また、かすがい どこでも アート・ドアのロゴも作成し、財団公用車にラッピングを施した。</p>
備 考	助成／文化庁文化芸術振興費補助金（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業）

事業名	インフォメーション事業		
収 入	95,620 円	支 出	1,153,790 円 自主財源比率 8.3%
事業内容	文化情報プラザを拠点に、自主事業の情報提供及び市内外の文化芸術情報の提供を行っている。令和 2 年度は事業延期及び中止に伴い、チケット払戻業務に追われることになった。チケットの Web 販売は平成 28 年 2 月に、クレジットカード決済は令和 2 年 2 月に導入していたため、新型コロナウイルス感染症防止対策のための対応は問題なく行えた。		
実 績	≪文化情報プラザ運営≫ 9:30～17:15 ≪チケット Web 販売数≫ 481 件、858 枚、3,218 千円（払戻分含む） ≪チケット入金明細≫ ・カード決済 120 件 215 枚 ・セブンイレブン決済 108 件 173 枚 ・現金 1,806 件 3,041 枚 ・郵便振替 5 件 8 枚 ≪文化情報プラザでのカード利用数≫ 41 件 81 枚 203 千円		
成 果	チケット払戻のためのシミュレーション等を行い、振込対応も含め、全ての方に対応することができた。また、貸館の委託販売にまつわるチケット委託販売規約を一部改正し、払戻に関する手数料をいただくことにしたが、コロナ禍による中止等については無料で行うこととした。なお、令和 2 年度の委託販売チケットは通常時の約 2 割に減った。チケット販売だけではなく、財団がこれまでに発信してきたオリジナルコンテンツを発信できるよう、文化情報プラザの整備を進め、漫画紹介コーナーなどを設置した。		
備 考			

事業名	友の会事業		
収 入	938,312 円	支 出	467,980 円 自主財源比率 200.5%
事業内容	自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスを受けられる有料の会員制度を平成 14 年度から継続して運営。コロナ禍による事業数の減少に伴い会員数が減ったこと、友の会会員の購入割合がピーク時の 5 割から 3 割に落ち込むなど、友の会のニーズと現状のサービスに隔たりができていたため、令和 2 年 12 月より、バースデーサービスなどの付加価値を無くし、年会費そのものを安くして会員種別を一本化した。		
実 績	≪友の会 PiPi 有料会員数≫ 548 名 内、新規入会 99 名、更新 449 名 内訳：レギュラー会員（年会費 2,000 円）201 名、ゴールド会員（年会費 3,000 円）62 名、		

	新会員（年会費 1,500 円）243 名、新会員（元ゴールド会員、令和 3 年 12 月末までの継続更新料 1 回に限り 500 円）42 名、退会 3 名（レギュラー 1 名、ゴールド 1 名、ダブル入会に伴う払戻 1 名） 《無料 Web 会員数》5,761 名
成 果	友の会会員が毎年楽しみにしている「松竹大歌舞伎」が令和 2 年 3 月下旬に中止となったため、会員数が大幅に減少した。コロナ禍において何とか実施したミュージカル「忍たま乱太郎」第 11 弾への来場を目掛けて、新規入会者が増えた。退会者は 2 名と少なく、友の会の見直しも行ったため、苦情等は無かった。会員 ID をスマートフォンから入力しやすいよう小文字に変更したり、年度末に公開した公文協シアターアーカイブスの案内をハガキで送るなど、さまざまな便宜を図った。友の会会員は当財団の根強いファンでもあるため、これからも丁寧な情報提供を行っていききたい。
備 考	

事業名	財団設立 20 周年記念 公文協シアターアーカイブス事業		
助成金	6,076,673 円	支 出	6,104,384 円 自主財源比率 99.6%
事業内容	公益社団法人全国公立文化施設協会（以下、公文協）が令和 2 年度文化庁文化芸術収益力強化事業の委託を受けて実施した、劇場・音楽堂等コンテンツ配信ポータルサイト「公文協シアターアーカイブス」パイロット公演動画配信事業での採択を受け、当財団オリジナルの舞台公演に関する 5 本の動画配信を行った。 公文協シアターアーカイブス https://zenkouibuntheatre.jp/ (3/31 まで https://syueki4.bunka.go.jp/)		
実 績	公文協シアターアーカイブス会員登録者数：3,256 名 (1) 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会@長野県上田市サントミューゼ 公開 3/4 (木) 視聴回数 808 回 (視聴回数順 1 位) サンプル動画再生数 2,416 回 (2) 演劇×自分史 第 2 弾公演「旅旅」 公開 3/12 (金) 視聴回数 74 回 サンプル動画再生数 364 回 (3) 古関裕而コンサート「わがまち春日井」 公開 3/19 (金) 視聴回数 91 回 サンプル動画再生数 288 回 (4) 演劇×自分史 第 3 弾公演「春よ恋」(未上演) 公開 3/22 (月) 視聴回数 118 回 サンプル動画再生数 466 回 (5) 演劇×自分史 第 3 弾公演「春よ恋」ドキュメント 公開 3/26 (金) 視聴回数 102 回 サンプル動画再生数 270 回		
成 果	11 月末の事業採択から短期間で配信作業が進められたのは、当財団が日頃からオリジナルコンテンツを制作し、協同制作者達と良好な関係を築けていたことが大きい。出演者等の配信に関する権利処理はスムーズに進んだが、演劇×自分史で使用している既存楽曲の権利処理はハードルが高かったため、専門家に依頼し、最終的に全て公開することができた。配信に関する広報も行ったため、当財団の動画再生回数は公文協シアターアーカイブス内で視聴回数高順位を得ることができた。		
備 考	助成／文化庁 令和 2 年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」		

劇場・音楽堂等コンテンツ配信ポータルサイト「公文協シアターアーカイブス」パイロット公演動画配信事業

2 受託文化事業

事業名	第69回春日井市民美術展覧会		
新型コロナウイルスによる影響	公開審査中止、ギャラリートーク全日程中止（16回）、VR展の開催		
日時	【本展】8/15（土）～23（日）9:00～16:30（初日10:00から、最終日12:00まで）9日間開催 【VR展】8/21（金）～9/30（水）41日間開催		
会場	市庁舎、ギャラリー、視聴覚ホール		
入場料等	出品無料		
入場者数	6,744名	入場率	—
受託料	4,696,089円	助成金	—
		支出	4,469,089円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象とした公募美術展覧会。審査会員による参考作品も同時に展示。開会式及び表彰式を8/15（土）に開催した。</p> <p>応募 619 作品</p> <p>日本画 36 作品、洋画 114 作品、書 198 作品、彫塑工芸 30 作品、写真 133 作品 委嘱作品 51 作品、参考作品 57 作品</p> <p>賞／市長賞、財団理事長賞、教育委員会賞、市議会議長賞、観光コンベンション協会会長賞、奨励賞、委嘱特別賞</p>		
成果	<p>展覧会会期の全期間において、新型コロナウイルス感染症に係る愛知県独自の緊急事態宣言が発出されたため、搬入搬出日程の延長、公開審査及びギャラリートークを中止した。</p> <p>また、県をまたぐ移動の自粛要請がされたため、急遽、インターネット上で展覧会を鑑賞できる「VR市民展」を開催し、2,349件のアクセスがあった。このような感染防止策を徹底し、コロナ禍においても継続して、市民に作品発表及び鑑賞の場を提供することができた。</p>		
関連企画	<p>（1）はじめての写真額装講座</p> <p>6/27（土）①午前の部 10:00～12:00 ②午後の部 13:00～15:00</p> <p>交流アトリウム 参加者数：①19名 ②6名</p> <p>講師：奥村克己、丹羽省吾 講師補助：安藤宏幸、伊藤滋</p>		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会 後援／中日新聞社		

事業名	第40回春日井市短詩型文学祭		
新型コロナウイルスによる影響	作品展及び表彰式中止、VR展の開催		
日時	【作品展】1/24（日）～2/7（日）9:00～17:00 14日間開催（中止） 【VR展】1/30（土）～3/21（日）51日間開催		
会場	春日井市役所1階・市民ホール		
入場料等	出品無料		
入場者数	—	入場率	—
受託料	1,342,691円	助成金	—
		支出	1,342,691円
事業内容	市内在住、在勤、在学者を対象として、文化活動の普及・振興を図ることを目的とした市民		

	<p>公募の文学祭。作品展では、特別賞受賞作品 54 作品と審査員、実行員による作品 17 作品も同時に展示し、表彰式を 1 /31（日）に開催する予定であった。</p> <p>応募／23, 653 作品（一般の部 844 作品、小・中学生の部 22, 809 作品）</p> <p>入賞／731 作品 作品集／ 750 円</p> <p>【一般の部】短歌、俳句、川柳、狂俳、詩</p> <p>【小・中学生の部】短歌、俳句、川柳、詩</p> <p>賞／市長賞、第 40 回記念賞、財団理事長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会賞、秀逸、優秀（小・中学生のみ）、佳作</p>
成 果	<p>作品展会期の全期間において、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が愛知県に発出されたため、作品展及表彰式を中止した。</p> <p>また、不要不急の外出自粛要請がされたため、急遽、インターネット上で作品展を鑑賞できる「VR 短詩型文学祭」を開催し、691 件のアクセスがあった。また、40 回の記念の年に事業の PR を目的として、JR 春日井駅自由通路展示コーナーにて、市長賞受賞作品を展示した。このような取り組みに対し、WEB アンケートには「コロナで落ち込んでいたが、駅に展示してある作品に励まされた」「作品展は中止になってしまったが、遠方に住む家族に VR で作品をみてもらえた」など、好意的な意見が寄せられた。コロナ禍においても継続して、市民に作品発表及び鑑賞の場を提供することができた。</p>
備 考	<p>主催／春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会</p>

3 共催事業

事業名	小野道風公奉賛 第72回 全国書道展覧会「道風展」		
新型コロナウイルスによる影響	表彰式の規模縮小（壇上で授与する賞を減らし時短開催）		
日時	【本展】10/25（日）～11/3（火・祝）9:00～16:30 10日間開催 【VR展】10/25（日）～12/6（日）43日間開催 【学生半紙の部巡回展】11/4（水）～12/6（日）33日間		
会場	【本展】市庁舎、ギャラリー、交流アトリウム、道風記念館 【VR展】観光コンベンション協会会長賞以上の作品をインターネット上で公開 【学生半紙の部巡回展】JR春日井駅自由通路展示コーナー		
入場料等	出品料 第1～4部5,000円 第5部3,000円 学生条幅の部1,300円 学生半紙の部400円		
入場者数	5,908名	入場率	—
収入	7,041,456円	助成金	—
		支出	6,921,879円
事業内容	<p>日本三跡の一人、小野道風の偉業を讃えて開催する全国公募の書道展覧会。開会式を10/25（日）、表彰式を11/3（火・祝）に開催した。</p> <p>応募／6,071点</p> <p>第1部（漢字）153点、第2部（かな）67点、第3部（近代詩文）68点 第4部（少字数）46点、第5部（小品）2点 一般部合計336点 学生条幅の部652点、学生半紙の部5,083点 学生部合計5,735点</p>		
成果	<p>コロナ禍の影響により、他の書道展が中止となるなか作品を募集し、PRに努めたことにより、応募点数が一般部47点、学生部105点、合計152点増加した。</p> <p>初めて交流アトリウムで展示を行い、学生条幅の優秀作品等を展示したことにより、入場者が前回より1,713名増加した。また、開会式後の作品解説会は密を避けるため、交流アトリウムの200インチ大型モニターを用いて行い、盛大に行うことができた。令和元年度初めて取り組んだ「VR道風展」では、一般部に加え、学生部の特別賞受賞作品を公開したことで、前回より830件多い1,867件のアクセスがあった。</p> <p>加えて、コロナ禍の中、表彰式に来場された受賞者へのおもてなし企画として、道風記念館や駅へのジャンボタクシーでの送迎や、道風記念館での企画展の解説、記念撮影と写真のプレゼント、各種店舗での割引サービスなど、次回以降の出品へ繋げる取り組みを行った。</p>		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、小野道風公遺跡保存会、中日新聞社 後援／愛知県教育委員会 協賛／一般社団法人春日井市観光コンベンション協会		

4 職員派遣

派遣事業名	愛公文セミナー I・II・III
日 時	7/29 (水)、9/25 (金)、11/12 (木) 10:00~17:00
会 場	愛知芸術文化センター
主 催	愛知県公立文化施設協議会
派遣職員名	米本一成 (チーフマネジャー)、小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名	「静岡県公立ホール連携支援研修事業
日 時	9/28 (月) 13:30~17:00
会 場	静岡県コンベンションアーツセンター (グランシップ)
主 催	公益財団法人静岡県文化財団
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)
派遣事業名	全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会 2021
日 時	2/3 (水) 13:00~14:30
会 場	としま区民センター
主 催	公益社団法人全国公立文化施設協会
派遣職員名	山川愛 (広報コミュニケーショングループ マネジャー)

【中止または延期した事業】

(1) 文芸系事業

日本自分史センターpresents 自分史講座	- 中止 -
・新聞記事で学ぶ「文章講座」5/16、30、6/13の各土曜日（3回連続講座） ・令和2年度「エッセイ講座」6/4～8/6の毎週木曜日	

(2) 美術系事業

Family Photo Tree（浅田政志 写真展）	- 延期 -
4/18（土）～5/17（日）10:00～17:00 ⇒ R4開催に向けて調整中 関連企画：浅田撮影局～春日井出張編、サイン会	

(3) 舞台系事業

蜜蜂と遠雷コンサート	- 中止 -
5/6（水・祝）16:00～	

松竹大歌舞伎	- 中止 -
5/19（火）昼の部 12:00～14:30、夕方の部 16:00～18:30 関連企画：葛西聖司の極付！歌舞伎セミナー、歌舞伎ソムリエの直前解説	

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 吹奏楽コンサート	- 延期 -
5/24（日）15:00～17:00 ⇒ R3.5/23（日） 関連企画：吹奏楽クリニック ⇒ R3.5/22（土）	

【共催】山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート2020	- 中止 -
6/21（日）16:30～18:30 ⇒ R3.2/11（木・祝）	

反田恭平プロデュースMLMナショナル管弦楽団コンサートツアー2020	- 延期 -
7/24（金・祝）14:00～16:00 ⇒ R4年に開催	

キエフ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」	- 延期 -
9/21（月・祝）15:00～17:00 ⇒ R3.9/20（月・祝）	

春日井まつり前夜祭	- 中止 -
10/16 (金) 18:00~	
カルデミンミットコンサート	- 中止 -
12/12 (土)	
財団サポーター2020	- 中止 -
年度内全ての研修・活動を中止	
ギャラリーライブ vol. 3 柳下美恵のピアノ de シネマ	- 延期 -
1/30 (日) ⇒ R3. 7/17 (土)	
【共催】第28回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル	- 中止 -
12/20 (日)	
【共催】春日井市民第九演奏会	- 中止 -
12/6 (日)	
【共催】かすがい人形劇フェスティバル2020	- 中止 -
10/11 (日)	

1 施設の利用状況(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1)文芸館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免					公用
1 ギャラリー	45	25	55.6%	270	142	52.6%	22	貸館	15	一般	12	7,365	15,207	39	34,113
										減免	2	1,146			
										公用	1	643			
										受託	3	2,706			
2 視聴覚ホール	166	74	44.6%	498	181	36.3%	68	貸館	37	一般	27	1,961	5,064	265	26,727
										減免	0	0			
										公用	10	566			
										受託	12	1,564			
3 会議室	233	199	85.4%	1,386	809	58.4%	225	貸館	183	一般	4	39	3,953	327	8,609
										減免	29	404			
										公用	150	2,637			
										受託	6	142			
4 文化活動室	231	154	66.7%	687	302	44.0%	182	貸館	162	一般	1	20	2,533	258	5,711
										減免	94	1,571			
										公用	67	695			
										受託	5	62			
5 和室	231	15	6.5%	1,374	34	2.5%	14	貸館	11	一般	9	44	56	135	1,177
										減免	0	0			
										公用	2	4			
										受託	0	0			
6 交流アトリウム	263	235	89.4%	789	568	72.0%	263	貸館	0	一般	0	0	5,992	530	20,692
										減免	0	0			
										公用	0	0			
										受託	1	61			
合計							774	貸館	408	一般	53	9,429	32,805	1,554	97,029
										減免	125	3,121			
										公用	230	4,545			
										受託	27	4,535			
								財団 自主	366	共催	29	3,913		49.8%	33.8%
										主催	310	7,262			

III 施設の利用状況

(2)市民会館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免					公用
7 市民会館	227	105	46.3%	666	262	39.3%	101	貸館	79	一般	64	14,872	21,036	181	99,669
										減免	0	0			
										公用	15	1,740			
										受託	0	0			
								財団 自主	22	共催	9	2,961		55.8%	21.1%
										主催	13	1,463			

※利用率＝利用日数／利用可能日数 ※回転率＝利用区分／利用可能区分
 ※利用可能区分＝利用可能日数／月×利用時間3区分(午前・午後・夜間) 但し、ギャラリーは週単位の貸館で時間区分なし。
 ※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。
 ※交流アトリウムの回転率が100%を超えるのは、同日利用があるため

2 入館者数一覧(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	26	27	25	27	28	26		27	25	24	24	24	26	150	309	315	98.1%
ギャラリー	利用件数	0	0	2	1	2	4	9	1	4	2	2	0	4	13	22	39	56.4%
	利用者数	0	0	989	46	2,660	3,707	7,402	879	1,485	1,855	1,541	0	2,045	7,805	15,207	34,113	44.6%
視聴覚ホール	利用件数	0	0	5	8	14	12	39	11	11	0	0	0	7	29	68	265	25.7%
	利用者数	0	0	237	428	1,645	703	3,013	752	765	0	0	0	534	2,051	5,064	26,727	18.9%
会議室	利用件数	2	0	15	33	32	24	106	25	27	21	13	5	28	119	225	327	68.8%
	利用者数	37	0	257	698	667	452	2,111	428	471	264	216	46	417	1,842	3,953	8,609	45.9%
文化活動室	利用件数	0	0	10	23	20	25	78	19	28	17	9	4	27	104	182	258	70.5%
	利用者数	0	0	140	337	246	380	1,103	262	446	191	158	36	337	1,430	2,533	5,711	44.4%
和室	利用件数	0	0	2	2	2	3	9	2	1	0	1	0	1	5	14	135	10.4%
	利用者数	0	0	5	7	8	11	31	9	0	0	11	0	5	25	56	1,177	4.8%
交流アトリウム	利用件数	0	0	3	35	27	32	97	36	29	24	24	24	29	166	263	530	49.6%
	利用者数	0	0	88	553	82	1,249	1,972	2,046	1,023	2	20	0	929	4,020	5,992	20,692	29.0%
ボランティアルーム	利用者数	0	0	0	86	115	84	285	75	41	38	32	0	52	238	523	1,939	27.0%
文化情報プラザ	利用者数	435	155	206	350	238	197	1,581	301	504	362	263	321	380	2,131	3,712	13,754	27.0%
日本自分史センター	利用者数	13	4	12	16	14	20	79	14	13	22	9	7	25	90	169	475	35.6%
計	利用件数	2	0	37	102	97	100	338	94	100	64	49	33	96	436	774	1,554	49.8%
	利用者数	485	159	1,934	2,521	5,675	6,803	17,577	4,766	4,748	2,734	2,250	410	4,724	19,632	37,209	113,197	32.9%

※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。

※日本自分史センターは施設の特性上、利用者数の厳密なカウントが難しい。利用のほとんどは自分史相談と書籍の貸出し・返却であるため、この数を足したものを利用人数とみなす。

※ボランティアルームについては、人数が特定できる利用についてのみカウントする。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/9(木)～5/31(日)及び1/18(月)～2/21(日)の全日、2/22(月)～28(日)の夜間区分は貸館休止。

※改修工事のため、11/17(火)～3/12(金)は視聴覚ホール利用不可。

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	7	0	25	27	26	23	108	25	25	24	13	6	26	119	227	309	73.5%
市民会館	利用件数	0	0	2	5	13	14	34	13	19	9	10	0	16	67	101	181	55.8%
	利用者数	0	0	200	657	1,588	3,835	6,280	3,471	6,452	1,414	1,101	0	2,318	14,756	21,036	99,669	21.1%

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/9(木)～5/31(日)及び1/18(月)～2/21(日)の全日、2/22(月)～28(日)の夜間区分は貸館休止。